

(4) 学校造園研究会

会 長 松田 文雄 (中村中)
副会長 渡辺 昌幸 (蕨岡小)
事務局 小橋 匠 (東山小)

1. 研究主題

「よりよい学校環境を目指して」

2. 研究過程

実施年月日	研究のあらまし	会 場	備 考
R1. 5. 8 (水)	○四万十市教育研究会組織総会 (役員選出・研究主題の決定・年間計画立案)	中村南小学校	10名参加
R1. 8. 20 (火)	○第1回 研修会 「植木の剪定実習」 講師：池田 道一 さん (池田造園)	東山小学校	10名参加
R1. 10. 2 (水)	○第2回 研修会 「JGAP認証取得への道のりと活用と学校 園芸施設の見学・説明 (講話・見学)」 講師：幡多農業高等学校 谷渕 悠 教諭	幡多農業高等学校	10名参加

3. 今年度の取り組み

○第1回研修会 8月20日(水) 東山小学校

池田道一さん(池田造園)を講師に招き、東山小学校玄関前で「植木の剪定実習」を実施した。実習では、苜込バサミの基本的な使い方から、枝を切る場所(節の上)、不要な枝の落とし方、コケの除去の指導について実演を交えて教わった。

参加者は、次第に大胆に剪定作業を進め、各校に帰ってからも樹木の剪定ができるある程度の力を身につけることができた。



○第2回研修会 10月2日(水) 幡多農業高等学校

県内5例目(県内農業高校として初)で取得した「JGAP」(ジェイギャップ)。その取得に至る道のりと、その目的についての話を谷渕教諭からご講話いただいた。あくまでも教材として、生徒を伸ばすために外部コンサルタントなしでチャレンジし、1年半をかけて見事取得。施設面の改善はもとより、1番の収穫は生徒の変容だったと言う。また、種苗の交配(F1品種について)や、日ごろ疑問に感じている農業に関する件についてご指導いただいた。



施設見学では「JGAP」取得後、改善された点や、これからの施設改修の展望について話を聞きながら見学を行った。今回の研修で、農業の現状(認証制度やAI化)や、これから求められる経営者について学ぶことができた。

4. 平成31年度四万十市教育研究大会

第2回研修会が講話・見学内容のため、討議記録はなし。

5. 今年度の成果(○)と課題(●)

○農業高校での取り組みや、農業のこれからについて学ぶよい機会となった。

○剪定実習では、枝を落とす位置や、不要な枝の処理の仕方を学び、実践することができた。見違えるようになった玄関前の植木に、実習校にも喜ばれることができた。